

調査等事項報告 (団体名：市政・公明クラブ)

視察 (要望) 先	早稲田大学早稲田キャンパス 26 号館
視察 (要望) 日時	令和元年 7 月 25 日 (木) 10 時 25 分～12 時 30 分まで
視察 (要望) 項目	・セミナー 人口減少社会における発想の転換 ～横須賀市の事例から
視察 (要望) 者	大山正弘・海老名幸司・秋葉新一・茨木久弥・長南 誠・森一浩・石澤祐一・高橋菜穂子・矢萩浩次 (9 名)
内 容	<p>説明者</p> <p>Satoyama 推進コンソーシアム事務局長(前横須賀市長) 吉田雄人</p> <p>(株)チェンジ執行役員 New-IT ユニット担当 高橋範光</p> <p>視察研修選定理由</p> <p>当市では人口減少に歯止めがきかず昭和 29 年合併した際 42,000 人が本年度 24,000 人と減少している中で早稲田大学と地方議員研修会共済セミナーがあり今後の投資の進み方の参考にしたいためセミナー研修を選定した。</p> <p>セミナーの概況</p> <p>横須賀市は、平成 25 年に転出超過数 1,772 人と日本一になり、そこから強い危機感を感じた。まず、町の良さが伝わっていないのではないか？アンケートでは市内に住み続けたい 82.3%。そこで観光消費でこれまでの経済活動の量を確保することが必要。</p> <p>「ハコモノ」に頼らない町おこしは出来ないか？ ⇒無いものねだりではなくあるものを活用する。</p> <p>里山資本主義と「発想の転換」</p> <p>里山資本主義とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本古来、自然由来の物に新たに交換可能な付加価値を与えて、地域内で循環させる仕組み。 海・山・川などの自然、地域における人間関係など、お金では買えない試算を大切にし、テクノロジーの活用、6 次産業など、それぞれの地域で展開される規模の大小にこだわらない経済活動。 ・人口減少の中で、うちの地方には何もない・マイナスばかり・課題だらけ中央委省庁からの補助金・交付金あるいは大手資本などが入れば、きっと何とかなる。 発想の転換で「価値がない (と思われていた)」コト・モノに、交換可能な価値を与える。

横須賀における発想の転換

横須賀は基地の町と思われ、基地のイメージの払拭が失敗に終わっていた。マイナスからプラスにするため、あえて基地をアピールしないのは「もったいない」⇒マイナスイメージをプラスに。

1. 横須賀海軍カレー 横須賀市+海上自衛隊横須賀地方総監部+横須賀商工会議所⇒カレーの街よこすか推進委員会事業者部会において実施

15事業者から95事業者へ6.3倍のアップ

2. 横須賀軍港めぐり⇒横須賀でしか見られないと人気！週末は予約で満杯に

当初は日米指定海域のため運行不可

市政100周年事業として調整し、許可！

集客16万・経済効果7億円・雇用促進

3. 横須賀ネイビーバーガー

軍港クルーズの集客力を地元商店街へ、横須賀グルメを米海軍と共同開発

多数のファミリーレストラン等からオファーを受けるも全てお断り。米海軍横須賀基地周辺限定での認定。

38万食突破！

4. 米海軍基地開放イベント

春＝スプリングフェスタ(35,200人)

夏＝ネイビーフレンドショップデー(45,000人)

秋＝よこすかみこしパレード(22,000人)

5. サブカルチャーへの取り組み

アニメ、ゲーム等のサブカルチャーについて、市を上げて応援する。グルメスタンプラリーや横須賀が舞台のアニメ「はいふり」、ヨコカル祭の開催（記念艦三笠でのコスプレ撮影を許可）

6. ドル街 横須賀

ドルが使える横須賀 主要集客施設で来訪者が大幅にアップ。

メディア露出 40件／広告換算総額約2億2,700万円

経済効果として期間中1万ドルの利用があった店舗も！

定住促進における発想の転換

外国に行かなくても生の英語が体験可能！「生きた英語を学べるまち」として定住促進！

1. 市立学区全校へのネイティブ・スピーカー配置

2. 英語だけの世界 イングリッシュキャンプ

夏休み期間中に市内在住の中・高生を対象にした3泊4日のオールイングリッシュ宿泊型キャンプ

3. 横須賀総合高校とキニックハイスクールとの短期交換

留学

4. 横須賀ホームビジット

市内在住の外国人がホストファミリーとなり、ホームビジットの受け入れ実施

5. 米軍メリーランド大学への留学

市民限定で米軍基地内の大学へ留学

研修の感想

今回の研修で、地方創生とは自分の自治体で出来ないのなら他にできる自治体はない。そのくらいの「覚悟」が大事。そこから生まれる「発想の転換」をすべきということでした。講師の吉田さんは祖父が米沢市で佐藤山形市長とも友人ということもあり、我々村山市へも興味を示してくれ、いろいろ話をさせていただいた。少しでも村山市でも生かせればということで大変有意義な研修となりました。

調査等事項報告 (団体名：市政・公明クラブ)

視察 (要望) 先	農林水産省
視察 (要望) 日時	令和元年7月25日 (木) 14時20分～15時30分まで
視察 (要望) 項目	・農地バンクについて
視察 (要望) 者	大山正弘・海老名幸司・秋葉新一・茨木久弥・長南 誠・森一浩・石澤祐一・高橋菜穂子・矢萩浩次 (9名)
内 容	<p>説明者 農林水産省経営局農地政策課農地集積促進室経営専門官 佐藤洋介 (前村山市政策推進課長)</p> <p>視察研修選定理由 平成29年7月から本年6月まで3カ年間、当市の政策推進課長として尽力いただいた佐藤氏は、現在、農林水産省経営局農地政策課農地集積促進室経営専門官として勤務している。今回、農林政策についてレクチャーを頂くため選定した。</p> <p>概況 農地バンクの従来は各組織が一体となって農地集積に取り組んでいるとは言えず、連携は不十分。今後はコーディネーター役を担う組織と農地バンクが一体となって推進する体制を作り、人・農地プランを核に農地の利用集積・集約化を一体的に推進するもの。</p> <p>見直しのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の未来の設計図<人・農地プラン>を中心に関係者が一帯となって取り組みを支援 2. 農地バンクの手続きを簡素化するなど、使いやすく 3. 中山間地域の気候集積協力金の要件を大幅に緩和 4. 新規収納者に対する交付金の対象年齢の引き上げ <p>研修の感想 今回の研修で、佐藤前課長は我々との意見交換で気持ち的に余裕ができたみたいでほっとしておりました。今後の農林水産省での活躍を楽しみにしており、今後とも村山市への助言等をいただけるようお願いし、大変有意義な研修となりました。</p>

調査等事項報告 (団体名：市政・公明クラブ)

視察 (要望) 先	大田市場・豊洲市場
視察 (要望) 日時	令和元年7月26日 (金) 6時20分～10時30分まで
視察 (要望) 項目	・スイカのトップセールス及び豊洲青果市場について
視察 (要望) 者	大山正弘・海老名幸司・秋葉新一・茨木久弥・長南 誠・森一浩・石澤祐一・高橋菜穂子・矢萩浩次 (9名)
内 容	<p>視察研修選定理由</p> <p>当管内のJAみちのく村山における産地である「スイカ」の2市1町の首長とJA組合長理事及び生産者が出席し、大田市場においてトップセールスを実施することから市場での状況を見てくるため選定した。その後、新しくなった豊洲青果市場でのスイカ状況について選定した。</p> <p>概況</p> <p>東京は前々日まで寒く、スイカが出回らない状況であった。予約熱くなり、本場の「尾花沢スイカ」が時期に入り村山市が入っている西部選果場からの出荷が今後の大田市場での活性化につながると期待されていた。西部選果場からのスイカの持込であり、志布村山市長・菅根尾花沢市長・横山大石田町副町長・折原JAみちのく村山組合長理事等が出席し、盛大にトップセールスが行われた。我々も同行したとの説明があり、一役を担えたら嬉しい。試食のスイカは一気になくなり、尾花沢のスイカはしゃきしゃきがあり、上手いとの評判であった。</p> <p>その後、豊洲青果市場へ行き、東京シティ青果株の鈴木敏行取締役社長からのあいさつ後、荻原専務から状況について説明をいただきました。</p> <p>豊洲市場</p> <p>○卸売市場としては初めて全館閉鎖型の施設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度管理、衛生管理のもと必要とされる市場機能を整備し、物流動線を明確化、青果物の鮮度を保持しながら搬入搬出の実施。 <p>○青果棟の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの着車バース、待機駐車場でスムーズな搬入搬出閉鎖型施設で高温や風雨、塵から青果物を守る。 ・年間一定の温度管理で、商品特性に合わせて鮮度・品質保持。 ・自動立体低温倉庫で、商品の鮮度を保持しながら保管が可能。 ・輸出も視野に安全安心なHACCP対応の火口パッケージ施設。

FSSA22000、JFS-C の認証所得で、高度な安全・衛生管理。

- ・全国に向けた、ハブ市場としての物流拠点。

研修の感想

今回の研修で、尾花沢スイカの認知度はすごく、天気がようやく回復して今後の消費に大変期待していた関係者の熱意が感じられ、大変有意義な研修となりました。